

旧バージョンの TDP-T250(J)/TDP-TW300(J)をご使用のお客様へ

プロジェクターのバージョンについて

プロジェクターが以下のバージョンの場合は、PJLink に関連する設定が必要です。バージョンは「状態表示」メニューに表示されています。

TDP-T250(J):バージョン 1000 ~ 1500

TDP-TW300(J):バージョン 1000 ~ 1100



PJLink 機能の追加について

プロジェクター本体の[制御設定]メニューに[PJLink]の項目が表示されていない場合は、以下の操作を行ってください。

- (1) プロジェクターを動作状態(メニューが表示されている場合は閉じる)またはスタンバイ状態にする。
- (2) ▼ボタンをピーブ音がするまで押し続ける(約 10 秒間)。

以上で、PJLink 機能が追加され、制御設定メニューに項目が追加されます。

ポート番号の変更について

プロジェクターの PJLink 専用のポート番号は、暫定番号(東芝専用:10000)が登録されています。必ず**正規のポート番号'4352'**に変更してください。

ポート番号の変更は以下の手順で行ってください。

- (1) メニューの[制御設定] → [E メール] → [ポート番号]を選択する。
(このとき[Eメール]の[状態通知]が<切り>のときは、いったん<入り>に設定してください)
- (2) PJLink の正規のポート番号「4352」をリモコンを使って入力する。
- (3) ENTER ボタンをピーブ音がするまで押し続ける(約 10 秒間)

以上で PJLink のポート番号が変更されました。

(この操作によって設定済の E メール のポート番号が変更されることはありません。)

- (4) 電源を切り、主電源スイッチを切ります。
- (5) 次回電源を入れたときから変更したポート番号で PJLink 機能が動作します。

・プロジェクターに登録されている PJLink のポート番号を確認することができません。正しく動作しない、誤った番号を登録してしまったなどのときはやり直してください。

・正規のポート番号「4352」に変更することによって、東芝プロジェクターはプロジェクター管理ユーティリティや他メーカーの PJLink 対応アプリケーションから制御・監視することが可能になります。